

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

※ あてはまる□を☑または■で選択してください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立羽根井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒441-8029
愛知県豊橋市羽根井本町131

E-mail hanei-e@toyohashi.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 228名 女子 229名 合計 457名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 地域と関わる活動

1年生は、「ようこそはねい小へ」をテーマに、学校の近くにある保育園の年長児の子どもたちを招いて、入学に向けての交流会を行った。1年生が考えた遊びを園児に教えながら、いっしょに楽しんでもらった。約1時間の活動では、1年生がお兄さんお姉さんぶりを見せ、お互いに楽しく活動することができた。この活動を通して、計画を立て、調整しながら準備・実行する力や、コミュニケーション能力を高めることができた。



2年生は、「お年寄りに楽しんでもらおう」をテーマに、学校に隣接する老人福祉施設「明陽苑」を年に7回訪問し、高齢者と触れ合う活動を行った。高齢者の方も知っている伝統的な遊びをいっしょに行ったり、学習発表会で発表した劇を見ていただいたりする活動を重ね、交流を深めた。この活動を通して、企画力やコミュニケーション能力、そして何よりも相手をいたわる福祉の心を育てることができた。



3年生は、「わたしたちの町・大好き羽根井～豊橋」をテーマに、校区内や校区の近くにある店や工場について見学し、調べたことをまとめ、発表する活動を行った。特に、ヤマサちくわの工場見学では、ちくわの製造工程を映像で見たあと、工場内を見学しながら説明を聞き、商品がどのように作られるのか、生産性の向上や商品の安全管理など、工場の工夫や働く人たちの努力を知ることができた。この活動を通して、情報を収集する力や発表する力、また、人と関わる力を伸ばすことができた。見学のおわりに、実際に自分でちくわを作って焼き、そのまま焼き立てのちくわを食べ、子どもたちは大満足だった。



4年生は、「羽根井エコキッズ大作戦」をテーマに、地域を取り巻く環境問題や自然環境に関心を持ち、調査活動やリサイクル活動等を通して環境保全の大切さ

を理解することができた。学習発表会では、自分たちが生活の中で実際に体験・実験しながら学習したことを劇にして全校児童に伝えることができた。学んだことをまとめる力や、わかりやすく発表する力を高めることができた。



5年生は、子どもたちが卒業後に入学する中学校の中学生といっしょに、校区を流れる牟呂用水のクリーン活動を行った。ともに清掃をする中で、多くのゴミが捨てられていることから、ゴミを捨てることなく、自分たちの住んでいる地域をもっときれいにしていきたいという気持ちを高めた。この活動を通して、自分で課題を見つけて解決策を考え、実践する力を育てることができた。

② 地域の文化や歴史に触れる活動

3年生は、「大切にしたいな豊橋・羽根井～昔の生活や祭り～」のテーマで、まず豊橋や羽根井校区の昔の生活や様子を調べる活動を行った。昔使っていた道具などを実際に触ったり操作したりして、知識を深めた。そして、まちの歴史に詳しい方々から、身近な羽根井校区近辺の祭りや、豊橋で伝統的に行われている祭りにまつわる話を聞き、自分たちの感想や考えを加えてまとめ、お互いに発表した。この活動を通して、さらに豊橋・羽根井の歴史に対して、興味や関心だけでなく愛着をもつようになった。

4年生は、豊橋の伝統工芸である筆づくりを行った。講師の方々の説明を聞きながら一人一本ずつ自分の筆を完成させることができた。普段使っている筆が、複雑な作業で時間をかけて作られていることに気づくとともに、あらためて豊橋の伝統工芸のすばらしさを感じることもできた。

5年生は、地域の方々を講師として招き、伝統的な和楽器である琴や尺八について、実際に演奏する体験活動を行った。講師の方々の演奏を聴いて感動するとともに、ほとんどの子どもがはじめて触れる生の和楽器を演奏させていただき、貴重な体験をすることができた。

6年生は、豊橋ユネスコ協会の方々を講師として招き、豊橋公園の戦争遺跡について説明を聞いたり、写真や映像を使って豊橋空襲の様子を詳しく知ったりする活動を行った。戦時中の生活の様子や、実際に体験した空襲の恐ろしさを、実体験を交えて話していただき、子どもたちは戦争の悲惨さについて改めて考えることができたとともに、平和の大切さとそのために自分たちができることについても考えることができた。学習したことをグループでまとめ、授業参観で多くの参観者に発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）